

Handwritten text in vertical columns, likely a translation or official document. The text is written in cursive and includes some characters that appear to be from a foreign language, possibly English, such as "British" and "Government".

測拓使

是迄航海公證願出者有之節ハ  
其廳より外務省へ申立同省於テ  
願意取調上相渡来以處別紙  
通紙海公証規則相定ハ以條自今  
右ニ照準ニ取計此旨相達ハ事

明治七年 八月廿七日

大政大臣

三條實美

第八十八號

航海公證規則別紙ノ通相定候條此旨布告候事

明治七年八月廿七日

大政大臣三條實美

明治二十九年四月廿五日

大正二十九年四月廿五日

航海公證規則

第一條

航海公證ハ日本國所轄船ノ外國地方或ハ大洋ニ於テ日本船タルヲ  
証センメ並ニ保護ヲ得セシムルモノナリ

第二條

外國へ航セント欲スル日本國船ハ日本形西船主又ハ船長最寄ノ開  
港場管廳へ船籍証書ヲ添へ出願シ公証ヲ受クヘシ

第三條

各開港場管廳或ハ外國在留日本公使又ハ領事ハ凡ソ見積リ一個年  
分或ハ半個年分公証ヲ外務省ヨリ受取置キ外國へ航セント欲スル  
船主又ハ船長ヨリ公証願出ル時ハ船籍証書ヲ目的トシ之ヲ渡スヘ

但船籍証書ハ閱覽ノ上本人ヘ差戻スヘシ

#### 第四條

船長若シ事故アリテ公証ヲ逸失スルコトアラハ内國ハ再々開港場管  
廳ヘ外國ハ其國或ハ最寄ノ國ニ在留スル日本公使又ハ領事ヘ再々

第二條ニ照準シ出願シ之ヲ受クヘシ

但公使領事ニ在留ナキ國ハ此限ニアラス

#### 第五條

各開港場管廳或ハ外國在留日本公使又ハ領事ハ船長ヨリ公証逸失  
ノ次第ヲ陳告シテ更ニ公証受ケ度旨願出ル時ハ第三條ニ照準シ之  
ヲ渡スヘシ

#### 第六條

公証ヲ受クル者ハ其手数料トシテ金壹圓ヲ納ムヘシ

#### 第七條

船長ハ各開港場管廳或ハ外國在留ノ日本公使又ハ領事ヨリ受ケタ  
ル公証ヲ其歸着スル所ノ開港場管廳ヘ三十日內ニ返納スヘシ

#### 第八條

各開港場管廳ハ船長ヨリ返納スル公証ヲ毎年十二月外務省ヘ納ム  
ヘシ

#### 第九條

各開港場管廳ハ若シ船長第七條ノ手續ヲ怠ル時ハ罰金トシテ金三  
圓取立ヘシ

第十條

各開港場管廳ハ若シ公証ヲ願受ケス海外へ航セシ者アラハ罰金トシテ金拾圓取立ヘシ

第十一條

各開港場管廳及外國在留日本公使又ハ領事ハ毎年十二月右手數料罰金トモ外務省へ納ムヘシ

但外務省ヨリ罰金ハ司法省手數料ハ大藏省へ送致スヘシ

開拓長官黒田清隆

大久保辨理大臣其他清國談判之儀重大之事件ニ付該大臣彼地ヨリ、公東并電報等ハ慎重ニ取扱ヘキ固ヨリ言フ俟タス且公文類新聞紙掲載之儀兼テ其條例モ有之候得共前件ノ